

宇都宮市立上河内東小学校第6学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「毎日同じくらいの時刻に起きていますか。」の設問には、100%の児童が「している」と答えている。基本となる生活習慣なので、今後も奨励していく。

○テレビやビデオ、DVDを見る時間が、1日当たり2時間以上の児童が5割程度、また、ゲームを1日当たり1時間以上やっている児童は4割で、全国平均より低い。本校のノーゲームチェック等の取り組みの成果かと思われる。今後も、これらの時間を減らし、学習や読書の時間を増やすような指導を継続していく。

○学校に行くのが楽しいと答えている児童が、全国平均より高い。全員が楽しく学校生活が送れるよう、今後も配慮していく。

○新聞を読んだり、テレビやインターネットのニュースを見たりする割合が、全国平均を上回っている。今後もニュースの話題を取り上げるなどして、関心を高めていく。

●「将来の夢や目標を持っていますか。」の設問において、持っている児童の割合が全国平均を下回っている。卒業後の生活を見通したり、児童一人一人の興味・関心を引き出したりして、夢や目標が持てるように働きかける。

●家で学習の計画を立てて勉強している割合が、全国平均よりは高いが、しない児童の割合が3割前後いるので、家庭学習のやり方を具体的に指導する必要がある。

●授業で自分の考えを説明したり文章に書いたりすることが難しいと答えた児童の割合は、全国平均を上回っている。説明や作文のポイントや形を示すようにし、苦手意識を持たせないよう支援していく。